
倉敷市家庭ごみ及び事業ごみ組成分析調査
業務委託
(倉敷市事業ごみ組成分析調査)
報 告 書

令和 6 年 10 月

目 次

第1章 業務概要.....	1
1. 業務目的	1
2. 業務委託名.....	1
3. 調査対象地域.....	1
4. 調査場所	1
5. 調査内容	1
(1) 調査対象.....	1
(2) 調査日（現地調査）	1
(3) 分類作業（現地調査）	1
第2章 調査結果.....	4
1. 分類調査結果.....	4
(1) 重量.....	4
(2) 容積.....	6
(3) 単位容積重量	8
2. 分析調査結果.....	9
(1) ごみ1袋あたりに投入されるごみ量等の把握.....	9
(2) 事業別ごみ排出特性の把握.....	10
(3) 現行の分別区分に対する適正分別の状況把握	12
(4) 食品ロス発生状況の把握.....	15
(5) 減量化・再資源化の可能性に関する検討.....	17

現場写真

第1章 業務概要

1. 業務目的

市の処理場に搬入される事業ごみについて、産業廃棄物等の不適正搬入物やリサイクル可能なごみの割合等を調査することで、排出事業者の適正処理及びごみ減量指導に活用するための基礎資料とする。

また、令和5年3月に食品ロス削減推進計画を策定したことを踏まえ、サプライチェーンの事業ごみ中の食品ロスの実態を把握することで、今後の施策立案のための基礎資料とする。

2. 業務委託名

倉敷市家庭ごみ及び事業ごみ組成分析調査業務委託

3. 調査対象地域

病院、ホテル、コンビニ

4. 調査場所

倉敷市玉島環境センター車庫

5. 調査内容

(1) 調査対象

可燃ごみ：3検体（病院、ホテル、コンビニ 各1検体）

(2) 調査日（現地調査）

令和6年7月10日（水） 病院

令和6年7月11日（木） ホテル

令和6年7月26日（金） コンビニ

(3) 分類作業（現地調査）

平時に事業ごみとして排出する可燃ごみ10袋以上(120kg以上)(可燃ごみとして排出する予定であったダンボールや発泡スチロール等があればこれも含む)を収集する。収集したものから、会場で標準的なごみ120kg(病院は1ヶ所から120kg、ホテル、コンビニは数ヶ所から合計120kg)を抽出し、表1に記載の39項目に分類し、それぞれの体積、重量を測定する。

調査実施方法は、昭和 52 年 11 月 4 日付け厚生省課長通知環整第 95 号による。
また、分析結果から次に掲げる項目について、ごみ組成の実態を整理する。

- ごみ 1 袋あたりに投入されるごみ量等の把握
- 事業別ごみ排出特性の把握
- 現行の分別区分に対する適正分別の状況把握
- 食品ロス発生状況の把握
- 減量化・再資源化の可能性に関する検討

表1 39種組成分類表

No.	大分類	中分類	小分類	説明
1	プラスチック類	容器包装類	ペットボトル	飲料用・酒・醤油等のペットボトル
2			ペットボトルのキャップ	ペットボトルのキャップ
3			ボトル・カップ・パック類	容器包装のうち硬質系のもの シャンプー・洗剤・調味料等のボトル・カップ・パック等
4			フィルム・シート類	容器包装のうち軟質系のもの 包装シート・商品を包んでいたラップ・フィルム等
5			白色トレイ	白色トレイ
6			その他色トレイ	その他色トレイ
7			複合材料	容器包装のうちブラ+アルミ蒸着等
8			レジ袋	レジ袋
9			その他容器包装	上記に分類できないもの 発砲スチロールの緩衝材等
10		商品等	硬質ブラ	容器包装でない硬質プラスチック おもちゃ・日用雑貨等
11			軟質ブラ	容器包装でない軟質プラスチック サランラップ・袋等
12			ごみ袋	ごみ袋（排出に用いたごみ袋）
13	不燃物類	金属類	アルミ缶（飲料用）	アルミ缶（飲料用）
14			スチール缶（飲料用）	スチール缶（飲料用）
15			その他金属	スプレー缶・なべ・やかん・ハンガー・アルミ箔等
16		ガラス類	リターナブルビン	一升ビン、ビールビン
17			飲料用ビン	飲料用ビン
18			化粧用アキビン	化粧用アキビン
19		陶磁器類	陶磁器類	陶磁器類
20		ゴム・皮革類	ゴム製品・皮革製品等	ゴム製品・皮革製品等
21		その他不燃物	残渣・土砂等	残渣・土砂等
22	紙類	容器包装類	飲料用紙パック	飲料用紙パック
23			ダンボール	ダンボール箱・緩衝材
24			その他紙容器包装	菓子箱・カップ麺のふた・紙袋・包装紙等
25		商品等	新聞紙	新聞紙
26			書籍類	雑誌、書籍
27			チラシ	チラシ
28			その他リサイクル可能な紙	名刺以上のリサイクル可能な紙
29			その他紙	写真・感熱紙等のリサイクル不適な紙
30			布類	布製品・きれ
31	厨芥類	食品類	手付かずの食品	購入後全く手がつけられずに捨てられたもの。（100%残存）
31-1			手付かずの食品 （消費期限切れのもの）	未開封の食品（消費期限切れの食品）
31-2			手付かずの食品 （消費期限内のもの）	未開封の食品（消費期限内の食品）
31-3			手付かずの食品 （賞味期限切れのもの）	未開封の食品（賞味期限切れの食品）
31-4			手付かずの食品 （賞味期限内のもの）	未開封の食品（賞味期限内の食品）
32			食べ残し	調理され又は生のまま食卓にのぼったもの
33			調理くず（可食部分）	購入後、一部分しか手がつけられずに捨てられたもの
34			調理くず（不可食部分）	調理過程から排出された不可食部
35			食品以外	食品以外
36		木・竹・わら類	剪定枝	剪定枝
37	その他		その他木・竹・わら	木箱・割り箸・麻ひも・コルク等
38	その他分類 不能なもの	その他可燃物	その他分類不能な可燃物	紙オムツ・たばこ吸殻・湿布・生理用品等
39	その他分類 不能なもの	その他不燃物	その他分類不能な不燃物	乾電池・蛍光管・体温計・カイロ等

第2章 調査結果

1. 分類調査結果

(1) 重量

各検体の39種組成別の重量調査結果を表2に示し、重量比を表3に示す。

表2 重量調査結果

(単位：kg)					
大分類	中分類	小分類	病院 7/10	ホテル 7/11	コンビニ 7/26
プラスチック類	容器包装類	ペットボトル	0.35	3.47	1.37
		ペットボトルのキャップ	0.06	0.32	0.14
		ボトル・カップ・パック類	4.49	6.65	4.53
		フィルム・シート類	0.22	0.13	0.37
		白色トレイ	0.01	0.07	0.01
		その他色トレイ	0.02	0.07	0.03
		複合材料	2.03	0.97	0.69
		レジ袋	0.16	0.04	1.11
	その他容器包装	4.59	7.87	4.14	
	商品等	硬質プラ	2.76	2.81	0.30
		軟質プラ	4.75	4.96	1.13
ごみ袋		5.04	4.97	1.45	
不燃物類	金属類	アルミ缶（飲料用）	-	0.13	0.32
		スチール缶（飲料用）	-	-	-
		その他金属	0.08	0.12	0.12
	ガラス類	リターナブルビン	-	-	-
		飲料用ビン	-	-	0.26
		化粧用アキビン	-	-	-
陶磁器類	陶磁器類	-	-	-	
ゴム・皮革類	ゴム製品・皮革製品等	11.30	2.28	0.21	
その他不燃物	残渣・土砂等	-	0.01	-	
紙類	容器包装類	飲料用紙バック	2.54	1.27	1.76
		ダンボール	0.19	1.16	0.46
		その他紙容器包装	3.45	4.63	6.14
	商品等	新聞紙	0.13	5.69	0.45
		書籍類	-	0.90	-
		チラシ	-	1.08	0.04
その他リサイクル可能な紙	-	-	-		
その他紙	27.32	24.24	14.74		
布類	布製品・きれ	1.46	4.82	0.14	
厨芥類	食品類	手付かずの食品	0.23	0.29	7.22
		手付かずの食品(消費期限切れのもの)	-	0.11	47.00
		手付かずの食品(消費期限内のもの)	0.10	-	4.36
		手付かずの食品(賞味期限切れのもの)	0.03	-	1.15
		手付かずの食品(賞味期限内のもの)	2.18	0.29	4.08
		食べ残し	3.23	3.89	5.32
		調理くず(可食部分)	-	10.02	0.05
	調理くず(不可食部分)	1.04	19.08	0.87	
食品以外	食品以外	0.05	4.50	5.14	
木・竹・わら類	剪定枝	剪定枝	-	-	-
	その他	その他木・竹・わら	0.47	2.06	0.65
その他分類 不能なもの	その他可燃物	その他分類不能な可燃物	40.64	0.73	2.71
	その他不燃物	その他分類不能な不燃物	0.20	0.04	1.14
調査対象ごみ重量合計			119.12	119.67	119.60

※事業名下段は試料採取日いずれも令和6年

※重量の合計値は、端数処理の関係で合わないことがある。

表3 重量比算出結果

(単位：%)

大分類	中分類	小分類	病院 7/10	ホテル 7/11	コンビニ 7/26
プラスチック類	容器包装類	ペットボトル	0.3	2.9	1.1
		ペットボトルのキャップ	0.1	0.3	0.1
		ボトル・カップ・パック類	3.8	5.6	3.8
		フィルム・シート類	0.2	0.1	0.3
		白色トレイ	0.0	0.1	0.0
		その他色トレイ	0.0	0.1	0.0
		複合材料	1.7	0.8	0.6
		レジ袋	0.1	0.0	0.9
		その他容器包装	3.9	6.6	3.5
	商品等	硬質プラ	2.3	2.3	0.3
		軟質プラ	4.0	4.1	0.9
ごみ袋		4.2	4.2	1.2	
不燃物類	金属類	アルミ缶（飲料用）	-	0.1	0.3
		スチール缶（飲料用）	-	-	-
		その他金属	0.1	0.1	0.1
	ガラス類	リターナブルビン	-	-	-
		飲料用ビン	-	-	0.2
		化粧用アキビン	-	-	-
	陶磁器類	陶磁器類	-	-	-
ゴム・皮革類	ゴム製品・皮革製品等	9.5	1.9	0.2	
その他不燃物	残渣・土砂等	-	0.0	-	
紙類	容器包装類	飲料用紙パック	2.1	1.1	1.5
		ダンボール	0.2	1.0	0.4
		その他紙容器包装	2.9	3.9	5.1
	商品等	新聞紙	0.1	4.8	0.4
		書籍類	-	0.8	-
		チラシ	-	0.9	0.0
		その他リサイクル可能な紙	-	-	-
その他紙	22.9	20.3	12.3		
布類	布製品・きれ	1.2	4.0	0.1	
厨芥類	食品類	手付かずの食品	0.2	0.2	6.0
		手付かずの食品(消費期限切れのもの)	-	0.1	39.3
		手付かずの食品(消費期限内のもの)	0.1	-	3.6
		手付かずの食品(賞味期限切れのもの)	0.0	-	1.0
		手付かずの食品(賞味期限内のもの)	1.8	0.2	3.4
		食べ残し	2.7	3.3	4.4
		調理くず(可食部分)	-	8.4	0.0
	調理くず(不可食部分)	0.9	15.9	0.7	
食品以外	食品以外	0.0	3.8	4.3	
木・竹・わら類	剪定枝	剪定枝	-	-	-
	その他	その他木・竹・わら	0.4	1.7	0.5
その他分類 不能なもの	その他可燃物	その他分類不能な可燃物	34.1	0.6	2.3
	その他不燃物	その他分類不能な不燃物	0.2	0.0	1.0
調査対象ごみ重量比合計			100.0	100.2	99.8

※事業名下段は試料採取日いずれも令和6年

(2) 容積

各検体の 39 種組成別の容積調査結果を表 4 に示し、容積比を表 5 に示す。

表 4 容積調査結果

(単位：L)

大分類	中分類	小分類	病院 7/10	ホテル 7/11	コンビニ 7/26
プラスチック類	容器包装類	ペットボトル	20.0	120.0	85.0
		ペットボトルのキャップ	0.5	3.0	1.0
		ボトル・カップ・パック類	130.0	295.0	300.0
		フィルム・シート類	8.0	7.0	50.0
		白色トレイ	0.8	8.0	3.0
		その他色トレイ	4.0	10.0	4.0
		複合材料	70.0	20.0	30.0
		レジ袋	12.0	40.0	70.0
	その他容器包装	120.0	150.0	125.0	
	商品等	硬質プラ	35.0	50.0	10.0
		軟質プラ	95.0	145.0	60.0
ごみ袋		210.0	275.0	75.0	
不燃物類	金属類	アルミ缶（飲料用）	-	7.0	15.0
		スチール缶（飲料用）	-	-	-
		その他金属	0.7	0.6	0.3
	ガラス類	リターナブルビン	-	-	-
		飲料用ビン	-	-	0.7
	化粧用アキビン	-	-	-	
陶磁器類	陶磁器類	-	-	-	
ゴム・皮革類	ゴム製品・皮革製品等	70.0	20.0	3.0	
その他不燃物	残渣・土砂等	-	0.1	-	
紙類	容器包装類	飲料用紙パック	90.0	55.0	80.0
		ダンボール	3.0	50.0	30.0
		その他紙容器包装	100.0	95.0	230.0
	商品等	新聞紙	2.0	45.0	13.0
		書籍類	-	5.0	-
		チラシ	-	20.0	0.4
		その他リサイクル可能な紙	-	-	-
その他紙	410.0	270.0	260.0		
布類	布製品・きれ	12.0	70.0	0.9	
厨芥類	食品類	手付かずの食品	0.6	3.0	35.0
		手付かずの食品(消費期限切れのもの)	-	0.4	230.0
		手付かずの食品(消費期限内のもの)	0.6	-	35.0
		手付かずの食品(賞味期限切れのもの)	0.1	-	5.0
		手付かずの食品(賞味期限内のもの)	5.0	5.0	30.0
		食べ残し	4.0	6.0	8.0
		調理くず(可食部分)	-	25.0	0.2
		調理くず(不可食部分)	3.0	50.0	3.0
	食品以外	食品以外	0.2	13.0	13.0
木・竹・わら類	剪定枝	-	-	-	
	その他	25.0	40.0	13.0	
その他分類 不能なもの	その他可燃物	200.0	7.0	13.0	
	その他不燃物	0.6	0.1	7.0	
調査対象ごみ容積合計			1632.1	1910.2	1838.5

※事業名下段は試料採取日いずれも令和6年

表5 容積比算出結果

(単位：%)

大分類	中分類	小分類	病院 7/10	ホテル 7/11	コンビニ 7/26
プラスチック類	容器包装類	ペットボトル	1.2	6.3	4.6
		ペットボトルのキャップ	0.0	0.2	0.1
		ボトル・カップ・パック類	8.0	15.4	16.3
		フィルム・シート類	0.5	0.4	2.7
		白色トレイ	0.0	0.4	0.2
		その他色トレイ	0.2	0.5	0.2
		複合材料	4.3	1.0	1.6
		レジ袋	0.7	2.1	3.8
		その他容器包装	7.4	7.9	6.8
	商品等	硬質プラ	2.1	2.6	0.5
		軟質プラ	5.8	7.6	3.3
ごみ袋		12.9	14.4	4.1	
不燃物類	金属類	アルミ缶（飲料用）	-	0.4	0.8
		スチール缶（飲料用）	-	-	-
		その他金属	0.0	0.0	0.0
	ガラス類	リターナブルビン	-	-	-
		飲料用ビン	-	-	0.0
		化粧用アキビン	-	-	-
陶磁器類	陶磁器類	-	-	-	
ゴム・皮革類	ゴム製品・皮革製品等	4.3	1.0	0.2	
その他不燃物	残渣・土砂等	-	0.0	-	
紙類	容器包装類	飲料用紙パック	5.5	2.9	4.4
		ダンボール	0.2	2.6	1.6
		その他紙容器包装	6.1	5.0	12.5
	商品等	新聞紙	0.1	2.4	0.7
		書籍類	-	0.3	-
		チラシ	-	1.0	0.0
		その他リサイクル可能な紙	-	-	-
その他紙	25.1	14.1	14.1		
布類	布製品・きれ	0.7	3.7	0.0	
厨芥類	食品類	手付かずの食品	0.0	0.2	1.9
		手付かずの食品(消費期限切れのもの)	-	0.0	12.5
		手付かずの食品(消費期限内のもの)	0.0	-	1.9
		手付かずの食品(賞味期限切れのもの)	0.0	-	0.3
		手付かずの食品(賞味期限内のもの)	0.3	0.3	1.6
		食べ残し	0.2	0.3	0.4
		調理くず(可食部分)	-	1.3	0.0
	調理くず(不可食部分)	0.2	2.6	0.2	
食品以外	食品以外	0.0	0.7	0.7	
木・竹・わら類	剪定枝	剪定枝	-	-	-
	その他	その他木・竹・わら	1.5	2.1	0.7
その他分類 不能なもの	その他可燃物	その他分類不能な可燃物	12.3	0.4	0.7
	その他不燃物	その他分類不能な不燃物	0.0	0.0	0.4
調査対象ごみ容積比合計			99.6	100.1	99.8

※事業名下段は試料採取日いずれも令和6年

(3) 単位容積重量

重量及び容積の分析結果より、各検体の39種組成別単位容積重量は表6に示す。

表6 単位容積重量算出結果

(単位: kg/m³)

大分類	中分類	小分類	病院 7/10	ホテル 7/11	コンビニ 7/26
プラスチック類	容器包装類	ペットボトル	17.5	28.9	16.1
		ペットボトルのキャップ	120.0	106.7	140.0
		ボトル・カップ・パック類	34.5	22.5	15.1
		フィルム・シート類	27.5	18.6	7.4
		白色トレイ	12.5	8.8	3.3
		その他色トレイ	5.0	7.0	7.5
		複合材料	29.0	48.5	23.0
		レジ袋	13.3	1.0	15.9
	その他容器包装	38.3	52.5	33.1	
	商品等	硬質プラ	78.9	56.2	30.0
軟質プラ		50.0	34.2	18.8	
ごみ袋		24.0	18.1	19.3	
不燃物類	金属類	アルミ缶(飲料用)	-	18.6	21.3
		スチール缶(飲料用)	-	-	-
		その他金属	114.3	200.0	400.0
	ガラス類	リターナブルビン	-	-	-
		飲料用ビン	-	-	371.4
	化粧用アキビン	-	-	-	
陶磁器類	陶磁器類	-	-	-	
ゴム・皮革類	ゴム製品・皮革製品等	161.4	114.0	70.0	
その他不燃物	残渣・土砂等	-	100.0	-	
紙類	容器包装類	飲料用紙パック	28.2	23.1	22.0
		ダンボール	63.3	23.2	15.3
		その他紙容器包装	34.5	48.7	26.7
	商品等	新聞紙	65.0	126.4	34.6
		書籍類	-	180.0	-
		チラシ	-	54.0	100.0
		その他リサイクル可能な紙	-	-	-
その他紙	66.6	89.8	56.7		
布類	布製品・きれ	121.7	68.9	155.6	
厨芥類	食品類	手付かずの食品	383.3	96.7	206.3
		手付かずの食品(消費期限切れのもの)	-	275.0	204.3
		手付かずの食品(消費期限内のもの)	166.7	-	124.6
		手付かずの食品(賞味期限切れのもの)	300.0	-	230.0
		手付かずの食品(賞味期限内のもの)	436.0	58.0	136.0
		食べ残し	807.5	648.3	665.0
		調理くず(可食部分)	-	400.8	250.0
	調理くず(不可食部分)	346.7	381.6	290.0	
食品以外	食品以外	250.0	346.2	395.4	
木・竹・わら類	剪定枝	-	-	-	
	その他	18.8	51.5	50.0	
その他分類 不能なもの	その他可燃物	203.2	104.3	208.5	
	その他不燃物	333.3	400.0	162.9	
調査対象ごみ単位容積重量			73.0	62.6	65.1

※事業名下段は試料採取日いずれも令和6年

2. 分析調査結果

(1) ごみ1袋あたりに投入されるごみ量等の把握

ごみ1袋あたりに投入される重量及び容積を表7に示す。

表7 ごみ1袋あたりに投入される重量及び容積

調査地区	単位	病院	ホテル	コンビニ
投入重量	kg	2.00	3.89	3.25
投入容積	L	31.9	57.7	45.0

※分析試料に対する値

算出式 投入重量：分析試料全重量/分析試料の個数

投入容積：分析試料全容積/分析試料の個数

(2) 事業別ごみ排出特性の把握

事業別の大分類組成割合について表 8 及び図 1 に重量比を示し、表 9 及び図 2 に容積比を示す。ただし、「プラスチック類」と「紙類」については容器包装類とそれ以外のものに分類した結果を示す。

重量比でみると、病院は、紙オムツ等の「その他分類不能なもの」の割合が一番多く、次いで「紙類(商品等)」「プラスチック類(商品等)」の順に割合が高かった。ホテルとコンビニは「厨芥類」の割合が一番多く、次いで「紙類(商品等)」「プラスチック類(容器包装類)」の順に割合が高かった。

容積比でみると、病院では「紙類(商品等)」の割合が高く、ホテルとコンビニでは「プラスチック類(容器包装類)」の割合が高かった。

表 8 事業別大分類（容器包装別）組成割合（重量比）

(単位：%)

分類	病院	ホテル	コンビニ
プラスチック類（容器包装類）	10.1	16.5	10.3
プラスチック類（商品等）	10.5	10.6	2.4
不燃物類	0.1	0.2	0.6
ゴム・皮革類	9.5	1.9	0.2
その他不燃物	0.0	0.0	0.0
紙類（容器包装類）	5.2	6.0	7.0
紙類（商品等）	23.0	26.8	12.7
布類	1.2	4.0	0.1
厨芥類	5.7	31.9	62.7
木・竹・わら類	0.4	1.7	0.5
その他分類不能なもの	34.3	0.6	3.3

注) 分類の名称及び並び順は表 1 に準じた。

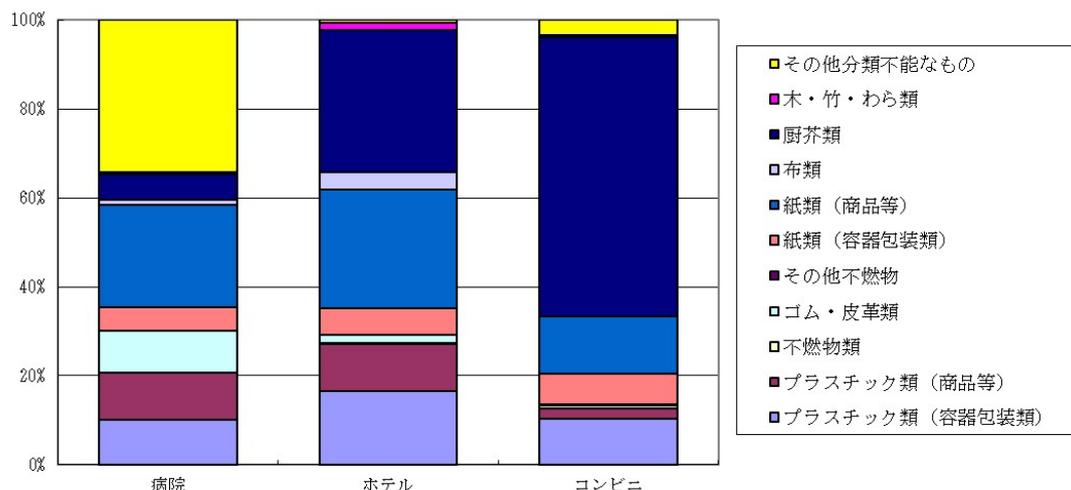


図 1 事業別大分類（容器包装別）組成割合（重量比）

表9 事業別大分類（容器包装別）組成割合（容積比）

（単位：％）

分類	病院	ホテル	コンビニ
プラスチック類（容器包装類）	22.3	34.2	36.3
プラスチック類（商品等）	20.8	24.6	7.9
不燃物類	0.0	0.4	0.8
ゴム・皮革類	4.3	1.0	0.2
その他不燃物	0.0	0.0	0.0
紙類（容器包装類）	11.8	10.5	18.5
紙類（商品等）	25.2	17.8	14.8
布類	0.7	3.7	0.0
厨芥類	0.7	5.4	19.5
木・竹・わら類	1.5	2.1	0.7
その他分類不能なもの	12.3	0.4	1.1

注）分類の名称及び並び順は表1に準じた。

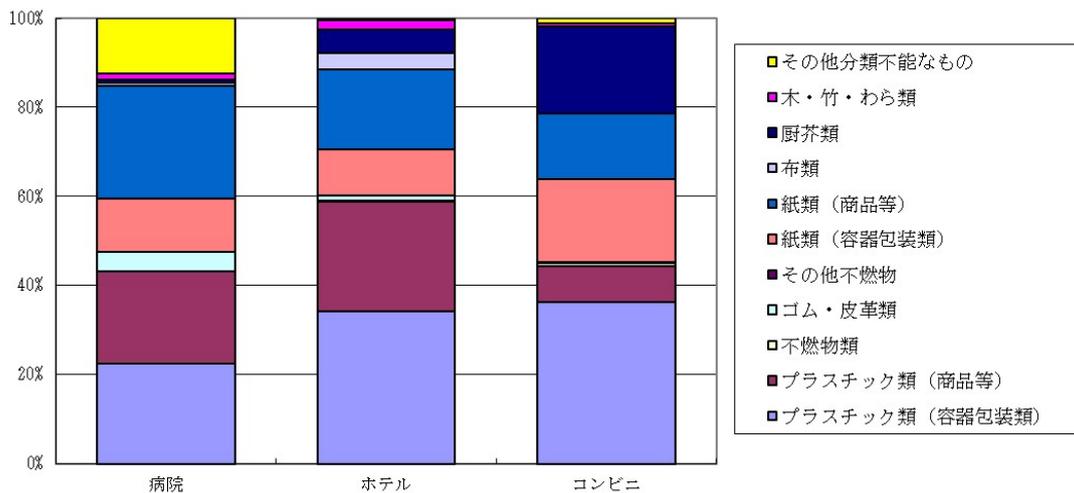


図2 事業別大分類（容器包装別）組成割合（容積比）

(3) 現行の分別区分に対する適正分別の状況把握

現行の分別区分に対する適正分別の状況を表 10 及び図 3～図 5 に示す。

今回の調査結果をみると、約 8 割から 9 割程度が適正分別ごみであった。

表 10 現行の分別区分に対する適正分別の状況

(単位：%)

区分	分類	病院	ホテル	コンビニ
混入資源化物	ペットボトル	0.3	2.9	1.1
	アルミ缶（飲料用）	-	0.1	0.3
	スチール缶（飲料用）	-	-	-
	その他金属	0.1	0.1	0.1
	リターナブルビン	-	-	-
	飲料用ビン	-	-	0.2
	化粧用アキビン	-	-	-
	飲料用紙パック	2.1	1.1	1.5
	ダンボール	0.2	1.0	0.4
	その他紙容器包装	2.9	3.9	5.1
	新聞紙	0.1	4.8	0.4
	書籍類	-	0.8	-
	チラシ	-	0.9	0.0
	その他リサイクル可能な紙	-	-	-
	布類（布製品・きれ）	1.2	4.0	0.1
	資源化物合計	6.9	19.6	9.2
混入不燃物	陶磁器類	-	-	-
	その他不燃物（残渣・土砂等）	-	0.0	-
	その他分類不能な不燃物	0.2	0.0	1.0
	不燃物合計	0.2	0.0	1.0
適正分別ごみ（可燃ごみ）	ペットボトルのキャップ	0.1	0.3	0.1
	ボトル・カップ・パック類	3.8	5.6	3.8
	フィルム・シート類	0.2	0.1	0.3
	白色トレイ	0.0	0.1	0.0
	その他色トレイ	0.0	0.1	0.0
	複合材料	1.7	0.8	0.6
	レジ袋	0.1	0.0	0.9
	その他容器包装	3.9	6.6	3.5
	硬質プラ	2.3	2.3	0.3
	軟質プラ	4.0	4.1	0.9
	ごみ袋	4.2	4.2	1.2
	ゴム製品・皮革製品等	9.5	1.9	0.2
	その他紙	22.9	20.3	12.3
	手付かずの食品	0.2	0.2	6.0
	手付かずの食品（消費期限切れのもの）	-	0.1	39.3
	手付かずの食品（消費期限内のもの）	0.1	-	3.6
	手付かずの食品（賞味期限切れのもの）	0.0	-	1.0
	手付かずの食品（賞味期限内のもの）	1.8	0.2	3.4
	食べ残し	2.7	3.3	4.4
	調理くず（可食部分）	-	8.4	0.0
	調理くず（不可食部分）	0.9	15.9	0.7
	食品以外	0.0	3.8	4.3
	剪定枝	-	-	-
	その他木・竹・わら	0.4	1.7	0.5
	その他分類不能な可燃物	34.1	0.6	2.3
	適正分別ごみ合計	92.9	80.6	89.6

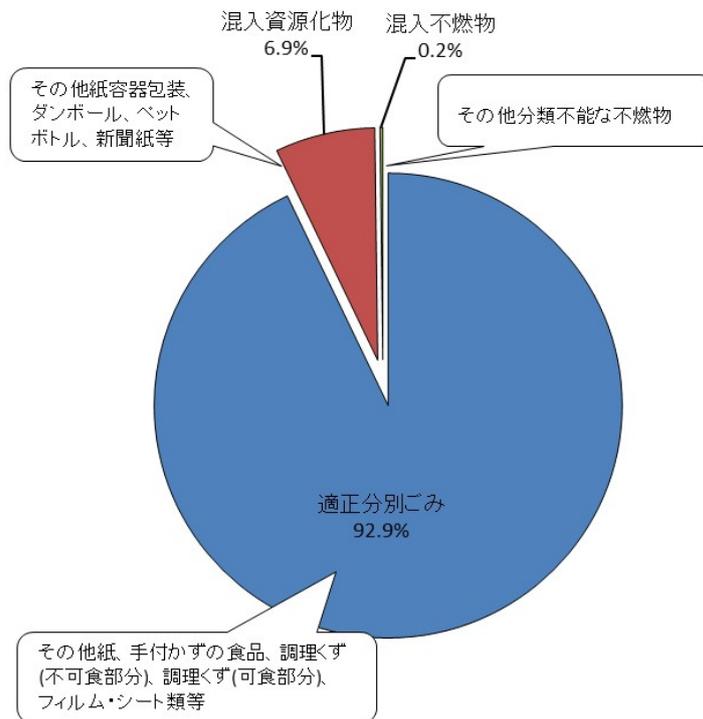


図3 現行の分別区分に対する適正分別の状況(病院)

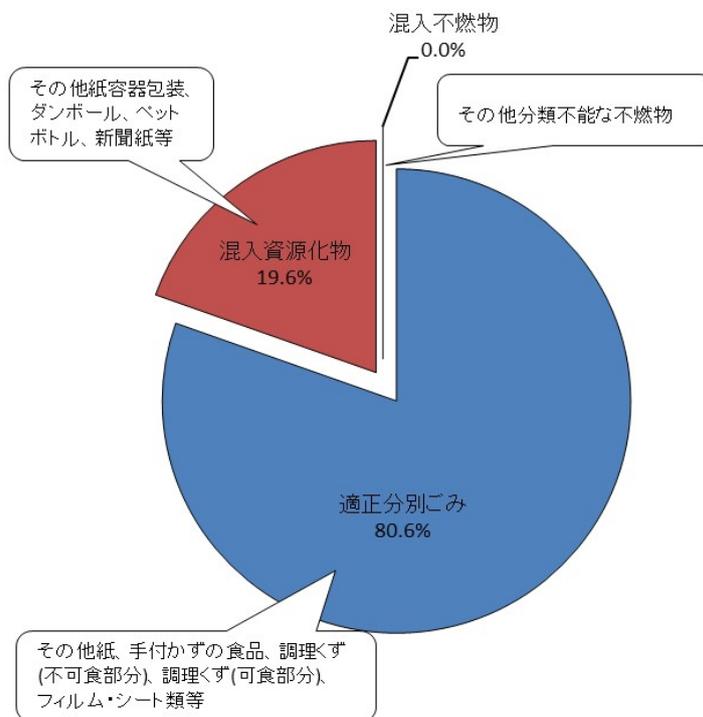


図4 現行の分別区分に対する適正分別の状況(ホテル)

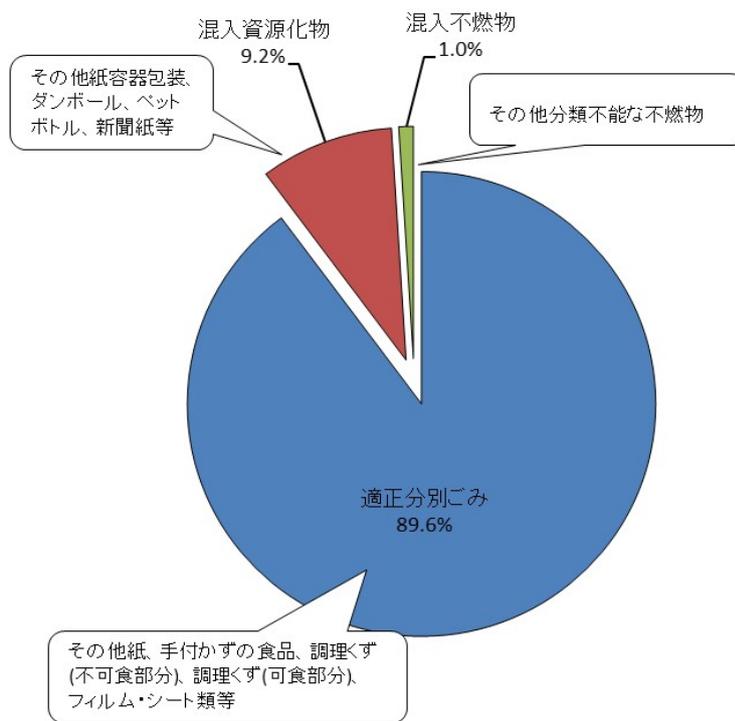


図5 現行の分別区分に対する適正分別の状況(コンビニ)

(4) 食品ロス発生状況の把握

食品ロス発生状況については表 11 及び図 6～図 8 に示す。食品ロスは厨芥類の手付かずの食品、手付かずの食品で「消費期限切れのもの」、「消費期限内のもの」、「賞味期限切れのもの」、「賞味期限内のもの」、「食べ残し」、「調理くず（可食部分）」に分類されるものである。

今回の調査結果をみると、病院では「食べ残し」、ホテルでは「調理くず（可食部分）」、コンビニでは「手つかずの食品（消費期限切れのもの）」が食品ロスで最も大きい割合を占めていた。

表 11 食品ロス発生状況（重量比）

（単位：％）

大分類	中分類	小分類	病院	ホテル	コンビニ	
厨芥類	食品類	食品ロス	手付かずの食品	3.4	0.8	9.6
			手付かずの食品（消費期限切れのもの）	-	0.3	62.5
			手付かずの食品（消費期限内のもの）	1.5	-	5.8
			手付かずの食品（賞味期限切れのもの）	0.4	-	1.5
			手付かずの食品（賞味期限内のもの）	31.8	0.8	5.4
			食べ残し	47.1	10.2	7.1
			調理くず（可食部分）	-	26.2	0.1
	食品ロス以外	調理くず（不可食部分）	15.2	50.0	1.2	
	食品以外	食品以外	0.7	11.8	6.8	

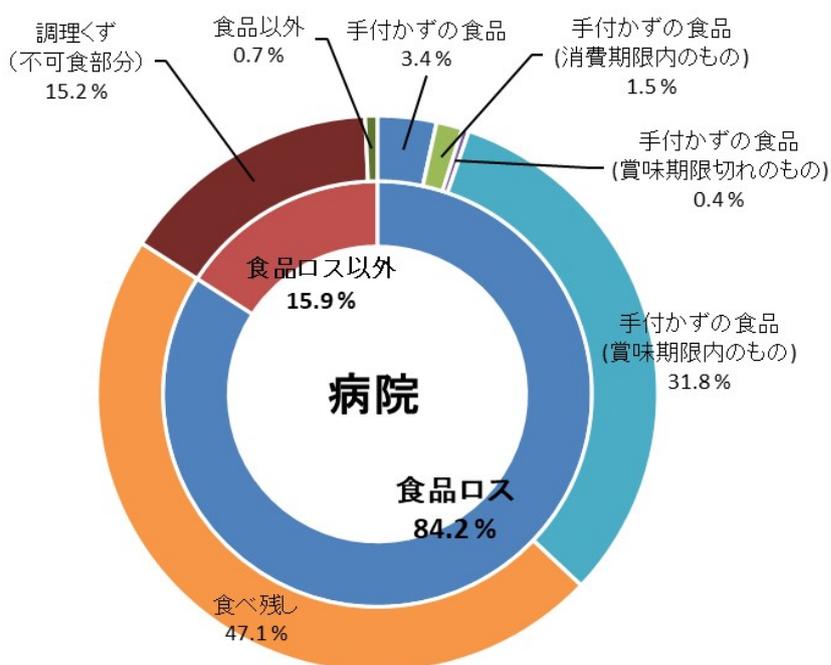


図 6 食品ロス発生状況の割合（病院）

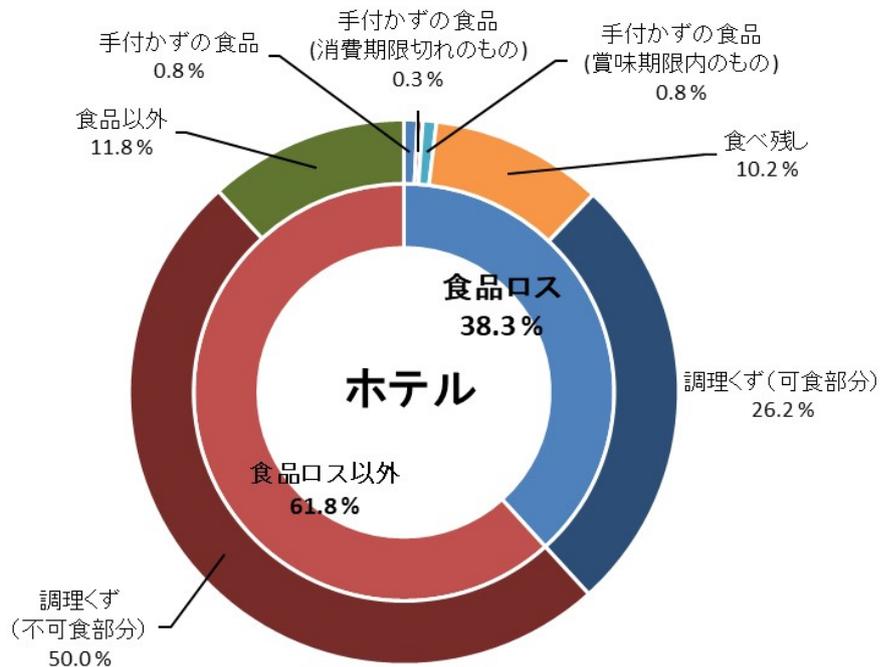


図7 食品ロス発生状況の割合 (ホテル)

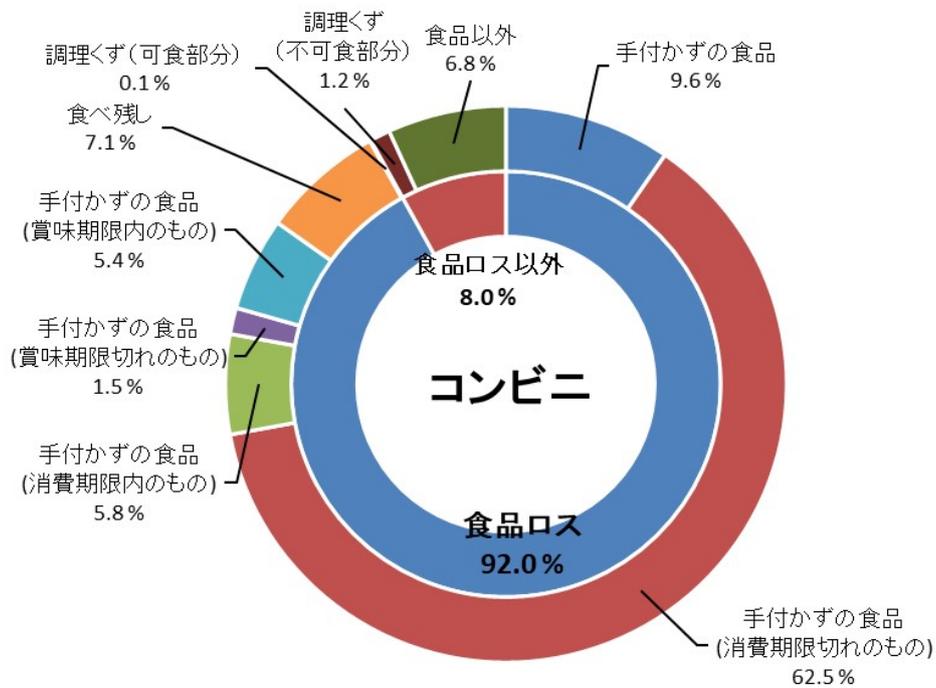


図8 食品ロス発生状況の割合 (コンビニ)

(5) 減量化・再資源化の可能性に関する検討

減量化・再資源化可能なものの混入状況を表 12 及び図 9～11 に示す。

表 12 減量化・再資源化可能なものの混入状況（重量比）

（単位：％）

区分	分類	病院	ホテル	コンビニ
減 量 化 可 能 な も の	ペットボトルのキャップ	0.1	0.3	0.1
	ボトル・カップ・パック類	3.8	5.6	3.8
	白色トレイ	0.0	0.1	0.0
	その他色トレイ	0.0	0.1	0.0
	レジ袋	0.1	0.0	0.9
	手付かずの食品	0.2	0.2	6.0
	手付かずの食品(消費期限切れのもの)	-	0.1	39.3
	手付かずの食品(消費期限内のもの)	0.1	-	3.6
	手付かずの食品(賞味期限切れのもの)	0.0	-	1.0
	手付かずの食品(賞味期限内のもの)	1.8	0.2	3.4
	食べ残し	2.7	3.3	4.4
	調理くず(可食部分)	-	8.4	0.0
	調理くず(不可食部分)	0.9	15.9	0.7
	食品以外	0.0	3.8	4.3
	減量化可能なもの合計	9.7	38.0	67.5
再 資 源 化 可 能 な も の	ペットボトル	0.3	2.9	1.1
	アルミ缶(飲料用)	-	0.1	0.3
	スチール缶(飲料用)	-	-	-
	その他金属	0.1	0.1	0.1
	リターナブルビン	-	-	-
	飲料用ビン	-	-	0.2
	化粧用アキビン	-	-	-
	飲料用紙パック	2.1	1.1	1.5
	ダンボール	0.2	1.0	0.4
	その他紙容器包装	2.9	3.9	5.1
	新聞紙	0.1	4.8	0.4
	書籍類	-	0.8	-
	チラシ	-	0.9	0.0
	その他リサイクル可能な紙	-	-	-
	布類(布製品・きれ)	1.2	4.0	0.1
	再資源化可能なもの合計	6.9	19.6	9.2
	減量化・再資源化可能なもの合計	16.6	57.6	76.7
減量化・再資源化不可能なもの合計	83.4	42.4	23.3	

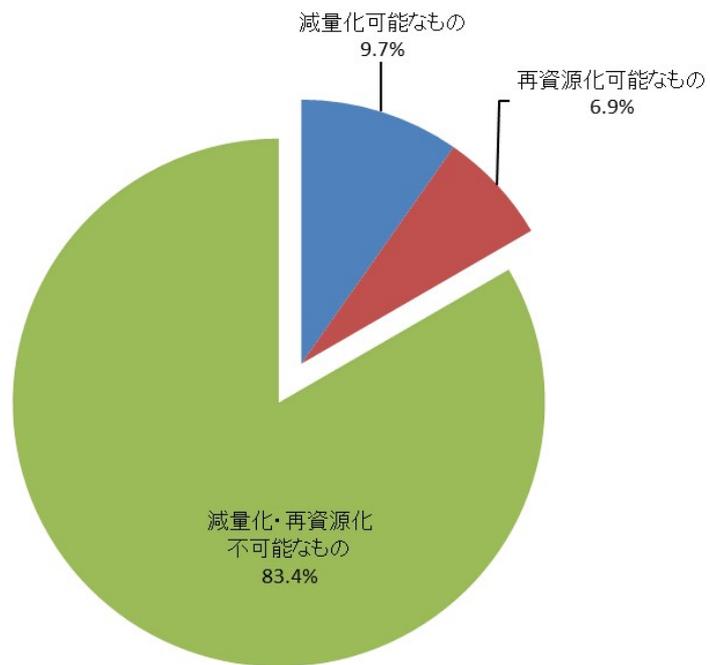


図9 減量化・再資源化可能なものの混入状況（病院）

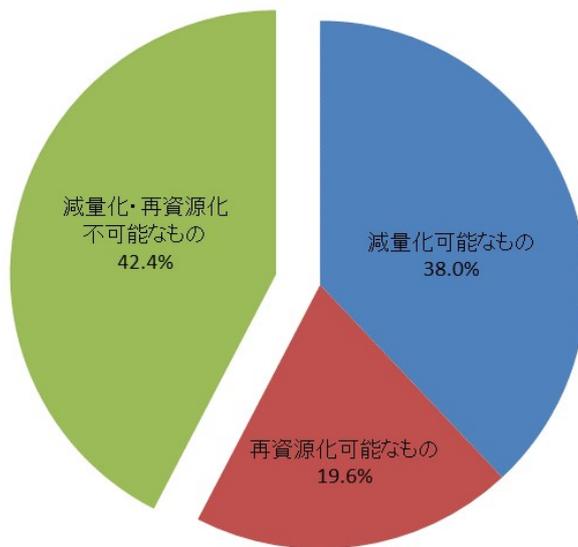


図10 減量化・再資源化可能なものの混入状況（ホテル）

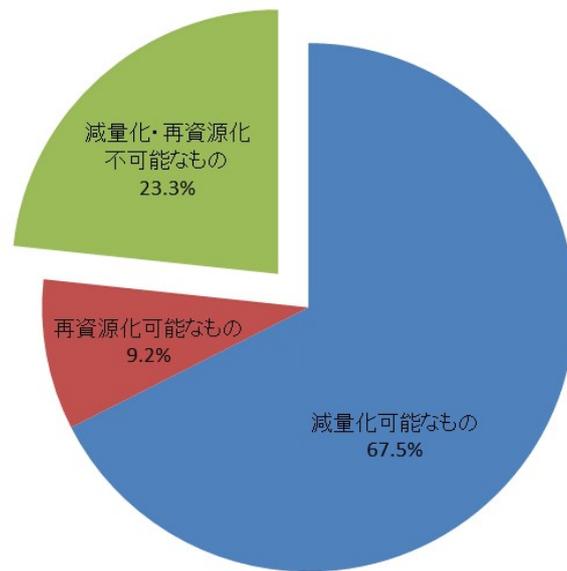


図 11 減量化・再資源化可能なものの混入状況（コンビニ）